

(51)Int.Cl.

G 0 6 F 16/29

(2019.01)

F I

G 0 6 F 16/29

テーマコード (参考)

5 B 1 7 5

審査請求 有 請求項の数6 O L

(21)出願番号

特願2024-114342(P2024-114342)

(22)出願日

令和6年7月17日(2024.7.17)

(71)出願人 598040488

株式会社 J O N

東京都新宿区新小川町 5 - 1 ニューリバ

ー 5 1 ビル 4 F

(74)代理人 110000154

弁理士法人はるか国際特許事務所

(72)発明者 中川 元

東京都新宿区新小川町 5 - 1 ニューリバ

5 1 ビル 4 F 株式会社 J O N 内

F ターム(参考) 5B175 DA03

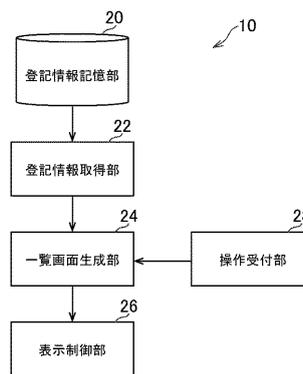
(54)【発明の名称】 テーブル表示制御システム、テーブル表示制御方法及びプログラム

(57)【要約】

【課題】複数の登記情報のそれぞれの概要の一覧をコンパクトに表示できる一覧画面表示制御システム、一覧画面表示制御方法及びプログラムを提供する。

【解決手段】登記情報取得部 2 2 は、土地の登記情報及び建物の登記情報を含む複数の登記情報を取得する。一覧画面生成部 2 4 は、複数の登記情報に基づいて、土地の登記情報に対応するレコードと建物の登記情報に対応するレコードのいずれもが配置されたテーブルであって、土地の登記情報に対応するレコードにおける当該登記情報の地目の欄に記載されている内容が格納されたフィールドと建物の登記情報に対応するレコードにおける当該登記情報の種類の欄に記載されている内容が格納されたフィールドが同一のカラムに並んで配置されたテーブルを生成する。表示制御部は、当該テーブルを含む一覧画面を表示させる。

【選択図】 図 1



【特許請求の範囲】**【請求項 1】**

土地の登記情報及び建物の登記情報を含む複数の登記情報を取得する登記情報取得手段と、

前記複数の前記登記情報に基づいて、土地の登記情報に対応するレコードと建物の登記情報に対応するレコードのいずれもが配置されたテーブルであって、土地の登記情報に対応するレコードにおける当該登記情報の地目の欄に記載されている内容が格納されたフィールドと建物の登記情報に対応するレコードにおける当該登記情報の種類の欄に記載されている内容が格納されたフィールドが同一のカラムに並んで配置されたテーブルを生成するテーブル生成手段と、

10

前記テーブルを含む一覧画面を表示させる表示制御手段と、

を含む一覧画面表示制御システム。

【請求項 2】

前記テーブル生成手段は、土地の登記情報に対応するレコードにおける当該登記情報の地積の欄に記載されている内容が格納されたフィールドと建物の登記情報に対応するレコードにおける当該登記情報の床面積の欄に記載されている内容が格納されたフィールドが同一のカラムに並んで配置されたテーブルを生成する、

請求項 1 に記載の一覧画面表示制御システム。

【請求項 3】

前記表示制御手段は、土地の登記情報のそれぞれに対応するレコードのみが配置されたテーブル、建物の登記情報のそれぞれに対応するレコードのみが配置されたテーブル、又は、土地の登記情報のそれぞれに対応するレコードと建物の登記情報のそれぞれに対応するレコードが配置されたテーブル、のうちのいずれかが表示されている状況における操作の受付に応じて、表示されているテーブルを当該テーブルとは異なるテーブルに切り替える、

20

請求項 1 に記載の一覧画面表示制御システム。

【請求項 4】

前記表示制御手段は、前記レコードの選択に応じて、当該レコードに対応する登記情報を表示させる、

請求項 1 に記載の一覧画面表示制御システム。

30

【請求項 5】

登記情報取得手段が、土地の登記情報及び建物の登記情報を含む複数の登記情報を取得するステップと、

テーブル生成手段が、前記複数の前記登記情報に基づいて、土地の登記情報に対応するレコードと建物の登記情報に対応するレコードのいずれもが配置されたテーブルであって、土地の登記情報に対応するレコードにおける当該登記情報の地目の欄に記載されている内容が格納されたフィールドと建物の登記情報に対応するレコードにおける当該登記情報の種類の欄に記載されている内容が格納されたフィールドが同一のカラムに並んで配置されたテーブルを生成するステップと、

表示制御手段が、前記テーブルを含む一覧画面を表示させるステップと、

40

を含む一覧画面表示制御方法。

【請求項 6】

土地の登記情報及び建物の登記情報を含む複数の登記情報を取得するステップと、

前記複数の前記登記情報に基づいて、土地の登記情報に対応するレコードと建物の登記情報に対応するレコードのいずれもが配置されたテーブルであって、土地の登記情報に対応するレコードにおける当該登記情報の地目の欄に記載されている内容が格納されたフィールドと建物の登記情報に対応するレコードにおける当該登記情報の種類の欄に記載されている内容が格納されたフィールドが同一のカラムに並んで配置されたテーブルを生成するステップと、

前記テーブルを含む一覧画面を表示させるステップと、

50

をコンピュータに実行させるためのプログラム。

【発明の詳細な説明】

【技術分野】

【0001】

本発明は、一覧画面表示制御システム、一覧画面表示制御方法及びプログラムに関する

【背景技術】

【0002】

特許文献1には、検索条件文字列が示す住所表記に基づいて特定される不動産の登記情報 10
報を出力する登記情報出力システムが記載されている。

【先行技術文献】

【特許文献】

【0003】

【特許文献1】特開2023-134825号公報

【発明の概要】

【発明が解決しようとする課題】

【0004】

特許文献1に記載の技術では、指定された地域内の不動産の登記情報の概要の一覧など 20
といった複数の登記情報の概要の一覧をコンパクトに表示することができなかつた。

【0005】

本発明は上記実情に鑑みてなされたものであって、その目的の一つは、複数の登記情報
のそれぞれの概要の一覧をコンパクトに表示できる一覧画面表示制御システム、一覧画面
表示制御方法及びプログラムを提供することにある。

【課題を解決するための手段】

【0006】

(1) 本発明に係る一覧画面表示制御システムは、土地の登記情報及び建物の登記情報
を含む複数の登記情報を取得する登記情報取得手段と、前記複数の前記登記情報に基づい
て、土地の登記情報に対応するレコードと建物の登記情報に対応するレコードのいずれも
が配置されたテーブルであって、土地の登記情報に対応するレコードにおける当該登記情
報の地目の欄に記載されている内容が格納されたフィールドと建物の登記情報に対応する 30
レコードにおける当該登記情報の種類の欄に記載されている内容が格納されたフィールド
が同一のカラムに並んで配置されたテーブルを生成するテーブル生成手段と、前記テー
ブルを含む一覧画面を表示させる表示制御手段と、を含む。

【0007】

(2) 前記テーブル生成手段は、土地の登記情報に対応するレコードにおける当該登記
情報の地積の欄に記載されている内容が格納されたフィールドと建物の登記情報に対応す
るレコードにおける当該登記情報の床面積の欄に記載されている内容が格納されたフィー
ルドが同一のカラムに並んで配置されたテーブルを生成する、上記(1)に記載の一覧画
面表示制御システムであつてもよい。 40

【0008】

(3) 前記表示制御手段は、土地の登記情報のそれぞれに対応するレコードのみが配置
されたテーブル、建物の登記情報のそれぞれに対応するレコードのみが配置されたテー
ブル、又は、土地の登記情報のそれぞれに対応するレコードと建物の登記情報のそれぞ
れに対応するレコードが配置されたテーブル、のうちのいずれかが表示されている状況にお
ける操作の受付に応じて、表示されているテーブルを当該テーブルとは異なるテーブルに切
り替える、上記(1)又は(2)に記載の一覧画面表示制御システムであつてもよい。

【0009】

(4) 前記表示制御手段は、前記レコードの選択に応じて、当該レコードに対応する登
記情報を表示させる、上記(1)から(3)のいずれかに記載の一覧画面表示制御システ 50

ムであってもよい。

【 0 0 1 0 】

(5) 本発明に係る一覧画面表示制御方法は、登記情報取得手段が、土地の登記情報及び建物の登記情報を含む複数の登記情報を取得するステップと、テーブル生成手段が、前記複数の前記登記情報に基づいて、土地の登記情報に対応するレコードと建物の登記情報に対応するレコードのいずれもが配置されたテーブルであって、土地の登記情報に対応するレコードにおける当該登記情報の地目の欄に記載されている内容が格納されたフィールドと建物の登記情報に対応するレコードにおける当該登記情報の種類の欄に記載されている内容が格納されたフィールドが同一のカラムに並んで配置されたテーブルを生成するステップと、表示制御手段が、前記テーブルを含む一覧画面を表示させるステップと、を含む。

【 0 0 1 1 】

(6) 本発明に係るプログラムは、土地の登記情報及び建物の登記情報を含む複数の登記情報を取得するステップと、前記複数の前記登記情報に基づいて、土地の登記情報に対応するレコードと建物の登記情報に対応するレコードのいずれもが配置されたテーブルであって、土地の登記情報に対応するレコードにおける当該登記情報の地目の欄に記載されている内容が格納されたフィールドと建物の登記情報に対応するレコードにおける当該登記情報の種類の欄に記載されている内容が格納されたフィールドが同一のカラムに並んで配置されたテーブルを生成するステップと、前記テーブルを含む一覧画面を表示させるステップと、をコンピュータに実行させる。

【 図面の簡単な説明 】

【 0 0 1 2 】

【 図 1 】 本発明の一実施形態に係る一覧画面表示制御システムで実装される機能の一例を示す機能ブロック図である。

【 図 2 】 登記情報データの一例を示す図である。

【 図 3 】 登記情報データの一例を示す図である。

【 図 4 】 一覧画面の一例を示す図である。

【 図 5 】 レコードの一例を示す図である。

【 図 6 】 レコードの一例を示す図である。

【 図 7 】 一覧画面の一例を示す図である。

【 図 8 】 一覧画面の一例を示す図である。

【 図 9 】 本発明の一実施形態に係る一覧画面表示制御システムにおいて行われる処理の流れの一例を示すフロー図である。

【 発明を実施するための形態 】

【 0 0 1 3 】

以下、本発明の一実施形態について図面に基づき詳細に説明する。

【 0 0 1 4 】

図 1 は、本実施形態に係る一覧画面表示制御システム 1 0 で実装される機能の一例を示す機能ブロック図である。

【 0 0 1 5 】

図 1 に示すように、本実施形態に係る一覧画面表示制御システム 1 0 は、機能的には例えば、登記情報記憶部 2 0、登記情報取得部 2 2、一覧画面生成部 2 4、表示制御部 2 6、操作受付部 2 8、を含んでいる。

【 0 0 1 6 】

一覧画面表示制御システム 1 0 は、例えば CPU、メモリ、通信インタフェース、入力デバイス及びディスプレイを含む、公知のコンピュータにより構成されてよい。そして、図 1 に示す機能ブロックは、コンピュータである一覧画面表示制御システム 1 0 において一覧画面表示制御プログラムが実行されることにより実現される。一覧画面表示制御プログラムは、半導体メモリなどの各種のコンピュータ可読情報記憶媒体に格納され、当該媒体から一覧画面表示制御システム 1 0 にロードされてもよい。あるいは、インターネット

などのデータ通信回線を介して一覧画面表示制御システム10にダウンロードされてもよい。

【0017】

登記情報記憶部20は、本実施形態では例えば、一般財団法人民事法務協会などによる登記情報提供サービスにアクセスすることで取得可能な、不動産登記全部事項等の登記情報を複数記憶する。当該登記情報提供サービスは、例えば、不動産登記全部事項の情報を、例えばPDF形式のファイルで一覧画面表示制御システム10に提供する。そして本実施形態では一覧画面表示制御システム10が、当該ファイルに対してテキスト化処理を実行する。そして本実施形態では、テキスト化処理により生成されたテキストの内容に応じた登記情報のデータ(以下、登記情報データと呼ぶ。)が登記情報記憶部20に記憶される。

10

【0018】

図2、及び、図3は、登記情報記憶部20に記憶される登記情報データの一例を示す図である。図2には、土地の登記情報データの一例が示されている。図3には、建物の登記情報データの一例が示されている。

【0019】

図2に示すように、土地の登記情報データには、当該登記情報データに対応する不動産登記全部事項の表題部の記載内容に相当する表題部データが含まれている。そして、図2に示す表題部データには、表示種別データ、調製年月日データ、不動産番号データ、地図番号データ、筆界特定データ、所在データ、が含まれる。

20

【0020】

表示種別データは、不動産登記全部事項の表題部との記載の右側に括弧書きで記載されている、不動産の種別を示すデータである。調製年月日データ、不動産番号データ、地図番号データ、筆界特定データ、所在データは、それぞれ、不動産登記全部事項の表題部の調製、不動産番号、地図番号、筆界特定、所在の記載内容を示すデータである。

【0021】

また、図2に示す表題部データには、地番データ、地目データ、地積データ、原因及びその日付[登記の日付]データの組合せが1又は複数含まれる。

【0022】

地番データ、地目データ、地積データ、原因及びその日付[登記の日付]データは、それぞれ、不動産登記全部事項の表題部の地番、地目、地積、原因及びその日付[登記の日付]の記載内容を示すデータである。

30

【0023】

図3に示すように、建物の登記情報データには、当該登記情報データに対応する不動産登記全部事項の表題部の記載内容に相当する表題部データが含まれている。そして、図3に示す表題部データには、表示種別データ、調製年月日データ、不動産番号データ、所在図番号データ、所在データ、家屋番号データが含まれる。

【0024】

表示種別データは、不動産登記全部事項の表題部との記載の右側に括弧書きで記載されている、不動産の種別を示すデータである。調製年月日データ、不動産番号データ、所在図番号データ、所在データ、家屋番号データは、それぞれ、不動産登記全部事項の表題部の調製、不動産番号、所在図番号、所在、家屋番号の記載内容を示すデータである。

40

【0025】

また、図3に示す表題部データには、種類データ、構造データ、床面積データ、原因及びその日付[登記の日付]データの組合せが1又は複数含まれる。

【0026】

種類データ、構造データ、床面積データ、原因及びその日付[登記の日付]データは、それぞれ、不動産登記全部事項の表題部の種類、構造、床面積、原因及びその日付[登記の日付]の記載内容を示すデータである。

【0027】

50

また、本実施形態に係る登記情報データには、図2及び図3に例示されている表題部データの他に、不動産登記全部事項の権利部(甲区)の記載内容に相当する権利部(甲区)データや、不動産登記全部事項の権利部(乙区)の記載内容に相当する権利部(乙区)データが含まれている。

【 0 0 2 8 】

登記情報取得部22は、本実施形態では例えば、登記情報記憶部20に記憶されている複数の登記情報のうちの少なくとも一部を取得する。ここで例えば、登記情報取得部22が、一覧画面表示制御システム10のユーザにより指定される検索条件を満たす登記情報を取得してもよい。

【 0 0 2 9 】

一覧画面生成部24は、本実施形態では例えば、登記情報取得部22が取得する登記情報に基づいて、図4に示す一覧画面30を生成する。

【 0 0 3 0 】

図4に示すように、一覧画面30には、テーブル32、土地チェックボックス34、及び、建物チェックボックス36が配置されている。そして、テーブル32には、登記情報がそれぞれに対応付けられるレコード38(図5、及び、図6参照)が少なくとも1つ含まれている。

【 0 0 3 1 】

図4に示すように、本実施形態に係るテーブル32には、7つのカラム40(左から順に、種類カラム40a、面積カラム40b、構造カラム40c、階カラム40d、築年カラム40e、所有者カラム40f、及び、担保カラム40g)が含まれている。

【 0 0 3 2 】

図5、及び、図6に示すように、本実施形態に係るレコード38には、7つのフィールド42(左から順に、種類フィールド42a、面積フィールド42b、構造フィールド42c、階フィールド42d、築年フィールド42e、所有者フィールド42f、及び、担保フィールド42g)が含まれている。

【 0 0 3 3 】

ここで、登記情報取得部22が、土地の登記情報及び建物の登記情報を含む複数の登記情報を取得したとする。この場合、一覧画面生成部24は、図4に示すように、登記情報取得部22が取得する複数の登記情報に基づいて、土地の登記情報に対応するレコード38と建物の登記情報に対応するレコード38のいずれもが配置されたテーブル32を生成する。

【 0 0 3 4 】

ここで例えば、一覧画面生成部24は、登記情報取得部22が取得する複数の登記情報のそれぞれについて、当該登記情報に対応付けられるレコード38を生成する。

【 0 0 3 5 】

例えば、図2に示す登記情報データに基づいて、図5に示すレコード38が生成される。

【 0 0 3 6 】

この場合、例えば、図2に示す登記情報データに含まれる地目データの値である文字列(すなわち、登記情報全部事項の表題部の地目欄に記載された文字列)の一部又は全部(図5の例では、先頭の2文字)が、図5に示すレコード38に種類フィールド42aの値として格納される。なお、種類データの値である文字列の先頭の1文字が種類フィールド42aの値として格納されてもよい。

【 0 0 3 7 】

また、図2に示す登記情報データに含まれる地積データの値(すなわち、登記情報全部事項の表題部の地積欄に記載された値)の小数点以下を丸めた整数値が、図5に示すレコード38に面積フィールド42bの値として格納される。

【 0 0 3 8 】

また、土地の登記情報に基づいて生成されるレコード38では、図5に示すように、構

10

20

30

40

50

造フィールド 4 2 c、階フィールド 4 2 d、及び、築年フィールド 4 2 e の値として空白 (N U L L) が設定される。

【 0 0 3 9 】

また、図 2 に示す登記情報データの権利部 (甲区) データに含まれる、登記情報全部事項の権利部 (甲区) の権利者その他の事項欄の記載内容を示すデータに基づいて生成される文字列が、図 5 に示すレコード 3 8 に所有者フィールド 4 2 f の値として格納される。例えば、所有者の氏名 (所有者が複数存在する場合は先頭の所有者の氏名) を表す文字列の先頭 4 文字が所有者フィールド 4 2 f の値として格納される。ここで、所有者が複数存在する場合には、先頭の所有者の氏名を表す文字列の先頭 4 文字に続いて、「 + 」、及び、所有者の数から 1 引いた値が、所有者フィールド 4 2 f の値として格納されてもよい。 10

【 0 0 4 0 】

また、図 2 に示す登記情報データの権利部 (乙区) データに含まれる、登記情報全部事項の権利部 (乙区) の共同担保目録欄の記載内容を示すデータに基づいて生成される文字列が、図 5 に示すレコード 3 8 に担保フィールド 4 2 g の値として格納される。ここで、共同担保目録欄の記載内容を示すデータに何らかの担保を示す情報が示されている場合に、「担」との文字が担保フィールド 4 2 g の値として格納されてもよい。また、共同担保目録欄の記載内容を示すデータに共同担保を示す情報が示されている場合に、「共」との文字が担保フィールド 4 2 g の値として格納されてもよい。

【 0 0 4 1 】

また、図 3 に示す登記情報データに基づいて、図 6 に示すレコード 3 8 が生成される。 20

【 0 0 4 2 】

この場合、例えば、図 3 に示す登記情報データに含まれる種類データの値である文字列 (すなわち、登記情報全部事項の表題部の種類欄に記載された文字列) の一部又は全部 (図 6 の例では、先頭の 2 文字) が、図 6 に示すレコード 3 8 に種類フィールド 4 2 a の値として格納される。なお、種類データの値である文字列の先頭の 1 文字が種類フィールド 4 2 a の値として格納されてもよい。

【 0 0 4 3 】

また、図 3 に示す登記情報データに含まれる床面積データの各階の値 (すなわち、登記情報全部事項の表題部の床面積欄に記載された値) の合計の、小数点以下を丸めた整数値が、図 6 に示すレコード 3 8 に面積フィールド 4 2 b の値として格納される。 30

【 0 0 4 4 】

また、図 3 に示す登記情報データに含まれる構造データの値である文字列 (すなわち、登記情報全部事項の表題部の構造欄に記載された文字列) の一部又は全部 (図 6 の例では、先頭の 2 文字) が、図 6 に示すレコード 3 8 に構造フィールド 4 2 c の値として格納される。

【 0 0 4 5 】

また、図 3 に示す登記情報データに含まれる構造データの値、又は、床面積データの値 (すなわち、登記情報全部事項の表題部の構造欄又は床面積欄に記載された内容) に基づいて特定される階数 (例えば、床面積データの値の行数) を示す値が、図 6 に示すレコード 3 8 に階フィールド 4 2 d の値として格納される。 40

【 0 0 4 6 】

また、図 3 に示す登記情報データに含まれる、原因及びその日付 [登記の日付] データの値に基づいて特定される値が、図 6 に示すレコード 3 8 に築年フィールド 4 2 e の値として格納される。例えば、原因及びその日付 [登記の日付] データの「新築」との文字列の左側に配置されている年月日から抽出される年を西暦表示に変換した値が、築年フィールド 4 2 e の値として格納されてもよい。あるいは、原因及びその日付 [登記の日付] データの「新築」との文字列の下側に括弧書きで配置されている年月日から抽出される年を西暦表示に変換した値が、築年フィールド 4 2 e の値として格納されてもよい。

【 0 0 4 7 】

また、図 2 及び図 5 を参照して説明した手法と同様にして、図 3 に示す登記情報データ 50

の権利部（甲区）データに含まれる、登記情報全部事項の権利部（甲区）の権利者その他の事項欄の記載内容を示すデータに基づいて生成される文字列が、図 6 に示すレコード 38 に所有者フィールド 42 f の値として格納される。

【 0 0 4 8 】

また、図 2 及び図 5 を参照して説明した手法と同様にして、図 3 に示す登記情報データの権利部（乙区）データに含まれる、登記情報全部事項の権利部（乙区）の共同担保目録欄の記載内容を示すデータに基づいて生成される文字列が、図 6 に示すレコード 38 に担保フィールド 42 g の値として格納される。

【 0 0 4 9 】

そして、土地の登記情報に基づいて生成されるレコード 38 と、建物の登記情報に基づいて生成されるレコード 38 と、を含むテーブル 32 が生成される。ここでは例えば、上述のように、レコード 38 には、複数のフィールド 42 が横一列に配置されている。そして、複数のレコード 38 が縦一列に並んで配置されたテーブル 32 が生成される。ここで、種類カラム 40 a、面積カラム 40 b、構造カラム 40 c、階カラム 40 d、築年カラム 40 e、所有者カラム 40 f、及び、担保カラム 40 g には、それぞれ、種類フィールド 42 a、面積フィールド 42 b、構造フィールド 42 c、階フィールド 42 d、築年フィールド 42 e、所有者フィールド 42 f、及び、担保フィールド 42 g が縦一列に配置される。なお、レコード 38 にフィールド 42 が縦一列に配置され、テーブル 32 にレコード 38 が横一列に配置されてもよい。

10

【 0 0 5 0 】

上述のように、土地の登記情報に対応するレコード 38 に含まれる種類フィールド 42 a には、当該登記情報の地目の欄に記載されている内容が格納される。ここで、上述のように、土地の登記情報の地目の欄に記載されている文字列と、種類フィールド 42 a に格納される文字列と、が一致していなくてもよい。また、建物の登記情報に対応するレコード 38 に含まれる種類フィールド 42 a には、当該登記情報の種類の欄に記載されている内容が格納される。ここで、上述のように、建物の登記情報の種類の欄に記載されている文字列と、種類フィールド 42 a に格納される文字列と、が一致していなくてもよい。そして、土地の登記情報に対応するレコード 38 に含まれる種類フィールド 42 a も、建物の登記情報に対応するレコード 38 に含まれる種類フィールド 42 a も、種類カラム 40 a に配置される。

20

30

【 0 0 5 1 】

このように、本実施形態では、一覧画面生成部 24 は、土地の登記情報に対応するレコード 38 における当該登記情報の地目の欄に記載されている内容が格納されたフィールド 42 と建物の登記情報に対応するレコード 38 における当該登記情報の種類の欄に記載されている内容が格納されたフィールド 42 が同一のカラム 40 に並んで配置されたテーブル 32 を生成することとなる。

【 0 0 5 2 】

また、上述のように、土地の登記情報に対応するレコード 38 に含まれる面積フィールド 42 b には、当該登記情報の地積の欄に記載されている内容が格納される。ここで、上述のように、土地の登記情報の地積の欄に記載されている文字列と、面積フィールド 42 b に格納される文字列と、が一致していなくてもよい。また、建物の登記情報に対応するレコード 38 に含まれる面積フィールド 42 b には、当該登記情報の床面積の欄に記載されている内容（床面積欄に記載された値の合計）が格納される。ここで、上述のように、建物の登記情報の床面積の欄に記載されている文字列と、面積フィールド 42 b に格納される文字列と、が一致していなくてもよい。そして、土地の登記情報に対応するレコード 38 に含まれる面積フィールド 42 b も、建物の登記情報に対応するレコード 38 に含まれる面積フィールド 42 b も、面積カラム 40 b に配置される。

40

【 0 0 5 3 】

このように、本実施形態では、一覧画面生成部 24 は、土地の登記情報に対応するレコード 38 における当該登記情報の地積の欄に記載されている内容が格納されたフィールド

50

4 2 と建物の登記情報に対応するレコード 3 8 における当該登記情報の床面積の欄に記載されている内容が格納されたフィールド 4 2 が同一のカラム 4 0 に並んで配置されたテーブル 3 2 を生成することとなる。

【 0 0 5 4 】

そして、一覧画面生成部 2 4 は、上述のようにして生成されるテーブル 3 2 と、選択状態（チェックマークが示されている状態）である土地チェックボックス 3 4 と、選択状態である建物チェックボックス 3 6 と、を含む一覧画面 3 0 を生成する。

【 0 0 5 5 】

表示制御部 2 6 は、本実施形態では例えば、一覧画面生成部 2 4 が生成する一覧画面 3 0 をディスプレイ等の表示部に表示させる。

10

【 0 0 5 6 】

操作受付部 2 8 は、本実施形態では例えば、一覧画面 3 0 に対する操作を受け付ける。

【 0 0 5 7 】

ここで例えば、図 4 に示す一覧画面 3 0 が表示されている状況において、選択状態である建物チェックボックス 3 6 に対する所定の操作（例えば、クリック操作）がされたとする。すると、操作受付部 2 8 は、当該操作を受け付ける。

【 0 0 5 8 】

この場合、一覧画面生成部 2 4 は、操作受付部 2 8 による当該操作の受付に応じて、図 7 に示す一覧画面 3 0 を生成する。図 7 に示す一覧画面 3 0 には、登記情報取得部 2 2 が取得する登記情報のうちの土地の登記情報に対応するレコード 3 8 のみを含むテーブル 3 2 と、選択状態の土地チェックボックス 3 4 と、非選択状態（チェックマークが示されていない状態）の建物チェックボックス 3 6 と、が含まれている。

20

【 0 0 5 9 】

そして、表示制御部 2 6 は、表示されている一覧画面 3 0 を、図 7 に示す一覧画面 3 0 に切り替える。

【 0 0 6 0 】

図 7 に示す一覧画面 3 0 が表示されている状況において、非選択状態である建物チェックボックス 3 6 に対する所定の操作（例えば、クリック操作）がされたとする。すると、操作受付部 2 8 は、当該操作を受け付ける。そして、一覧画面生成部 2 4 は、当該操作の受付に応じて、図 4 に示す一覧画面 3 0 を生成する。そして、表示制御部 2 6 は、表示されている一覧画面 3 0 を、図 4 に示す一覧画面 3 0 に切り替える。

30

【 0 0 6 1 】

また、図 4 に示す一覧画面 3 0 が表示されている状況において、選択状態である土地チェックボックス 3 4 に対する所定の操作（例えば、クリック操作）がされたとする。すると、操作受付部 2 8 は、当該操作を受け付ける。

【 0 0 6 2 】

この場合、一覧画面生成部 2 4 は、操作受付部 2 8 による当該操作の受付に応じて、図 8 に示す一覧画面 3 0 を生成する。図 8 に示す一覧画面 3 0 には、登記情報取得部 2 2 が取得する登記情報のうちの建物の登記情報に対応するレコード 3 8 のみを含むテーブル 3 2 と、非選択状態の土地チェックボックス 3 4 と、選択状態の建物チェックボックス 3 6 と、が含まれている。

40

【 0 0 6 3 】

そして、表示制御部 2 6 は、表示されている一覧画面 3 0 を、図 8 に示す一覧画面 3 0 に切り替える。

【 0 0 6 4 】

図 8 に示す一覧画面 3 0 が表示されている状況において、非選択状態である土地チェックボックス 3 4 に対する所定の操作（例えば、クリック操作）がされたとする。すると、操作受付部 2 8 は、当該操作を受け付ける。そして、一覧画面生成部 2 4 は、受け付ける当該操作に応じて、図 4 に示す一覧画面 3 0 を生成する。そして、表示制御部 2 6 は、表示されている一覧画面 3 0 を、図 4 に示す一覧画面 3 0 に切り替える。

50

【 0 0 6 5 】

このように、本実施形態では、表示制御部 2 6 は、土地の登記情報のそれぞれに対応するレコード 3 8 のみが配置されたテーブル 3 2、建物の登記情報のそれぞれに対応するレコード 3 8 のみが配置されたテーブル 3 2、又は、土地の登記情報のそれぞれに対応するレコード 3 8 と建物の登記情報のそれぞれに対応するレコード 3 8 が配置されたテーブル 3 2、のうちのいずれかが表示されている状況における操作の受付に応じて、表示されているテーブル 3 2 を当該テーブル 3 2 とは異なるテーブル 3 2 に切り替える。

【 0 0 6 6 】

なお、本実施形態において、表示制御部 2 6 は、土地の登記情報のそれぞれに対応するレコード 3 8 のみが配置されたテーブル 3 2 が表示されている状況における所定の操作の受付に応じて、表示されているテーブル 3 2 を建物の登記情報のそれぞれに対応するレコード 3 8 のみが配置されたテーブル 3 2 に切り替えてもよい。また、表示制御部 2 6 は、建物の登記情報のそれぞれに対応するレコード 3 8 のみが配置されたテーブル 3 2 が表示されている状況における所定の操作の受付に応じて、表示されているテーブル 3 2 を土地の登記情報のそれぞれに対応するレコード 3 8 のみが配置されたテーブル 3 2 に切り替えてもよい。

【 0 0 6 7 】

また、例えば、図 4、図 7、又は、図 8 に示す一覧画面 3 0 が表示されている状況において、いずれかのレコード 3 8 を選択する所定の操作（例えば、クリック操作）がされたとする。すると、操作受付部 2 8 は、当該操作を受け付ける。

【 0 0 6 8 】

すると、表示制御部 2 6 は、当該操作の受付（すなわち、レコード 3 8 の選択）に応じて、登記情報記憶部 2 0 に記憶されている、当該レコード 3 8 に対応する登記情報をディスプレイ等の表示部に表示させる。

【 0 0 6 9 】

以下、本実施形態に係る一覧画面表示制御システム 1 0 において行われる処理の流れの一例を、図 7 に例示するフロー図を参照しながら説明する。

【 0 0 7 0 】

まず、登記情報取得部 2 2 が、登記情報記憶部 2 0 に記憶されている複数の登記情報データを取得する（S 1 0 1）。

【 0 0 7 1 】

そして、一覧画面生成部 2 4 が、S 1 0 1 に示す処理で取得される複数の登記情報データに基づいて、テーブル 3 2 を生成する（S 1 0 2）。

【 0 0 7 2 】

そして、一覧画面生成部 2 4 が、S 1 0 2 に示す処理で生成されたテーブル 3 2 を含む一覧画面 3 0 を生成する（S 1 0 3）。

【 0 0 7 3 】

そして、表示制御部 2 6 が、S 1 0 3 に示す処理で生成された一覧画面 3 0 を表示させて（S 1 0 4）、本処理例に示す処理は終了される。

【 0 0 7 4 】

土地の登記情報における地目と建物の登記情報における種類とは、本来は別々の属性である。また、土地の登記情報と建物の登記情報の表題部のフォーマットは異なっている。

【 0 0 7 5 】

そうであるにも関わらず、本実施形態では、土地の登記情報における地目も建物の登記情報における種類も当該不動産の主な用途を表すものであるという点に着目し、図 4 に示すように、土地の登記情報に対応するレコード 3 8 における当該登記情報の地目の欄に記載されている内容が格納されたフィールド 4 2 と建物の登記情報に対応するレコード 3 8 における当該登記情報の種類の欄に記載されている内容が格納されたフィールド 4 2 が同一のカラム 4 0（種類カラム 4 0 a）に並んでテーブル 3 2 に配置される。また、このようなテーブル 3 2 が表示されるようにしても、一覧画面表示制御システム 1 0 のユーザに

10

20

30

40

50

とって特段の違和感がない。

【 0 0 7 6 】

そして、このようにすることで、土地の登記情報における地目の記載内容と建物の登記情報における種類の記載内容とがテーブル 3 2 において別々のカラム 4 0 に配置される場合と比較して、テーブル 3 2 に含まれるカラム 4 0 の数を減らすことが可能となる。

【 0 0 7 7 】

また、土地の登記情報における地積と建物の登記情報における床面積とは、本来は別々の属性である。また、上述のように、土地の登記情報と建物の登記情報の表題部のフォーマットは異なっている。

【 0 0 7 8 】

そうであるにも関わらず、本実施形態では、土地の登記情報における地積も建物の登記情報における床面積も当該不動産の広さを表すものであるという点に着目し、図 4 に示すように、土地の登記情報に対応するレコード 3 8 における当該登記情報の地積の欄に記載されている内容が格納されたフィールド 4 2 と建物の登記情報に対応するレコード 3 8 における当該登記情報の床面積の欄に記載されている内容が格納されたフィールド 4 2 が同一のカラム 4 0 (面積カラム 4 0 b) に並んでテーブル 3 2 に配置される。また、このようなテーブル 3 2 が表示されるようにしても、一覧画面表示制御システム 1 0 のユーザにとって特段の違和感がない。

10

【 0 0 7 9 】

そして、このようにすることで、土地の登記情報における地積の記載内容と建物の登記情報における床面積の記載内容とがテーブル 3 2 において別々のカラム 4 0 に配置される場合と比較して、テーブル 3 2 に含まれるカラム 4 0 の数を減らすことが可能となる。

20

【 0 0 8 0 】

以上のようにして、本実施形態によれば、複数の登記情報のそれぞれの概要の一覧をコンパクトに表示できることとなる。

【 0 0 8 1 】

また、本実施形態では、表示されている一覧画面 3 0 が、図 4、図 7、及び、図 8 に示すもの間で上述のように切り替わっても、テーブル 3 2 におけるカラム 4 0 の配置が変化しない。このようにして、本実施形態に係る一覧画面 3 0 の表示は、ユーザにとって見やすいものとなっている。

30

【 0 0 8 2 】

なお、本発明は上述の実施形態に限定されるものではない。

【 0 0 8 3 】

また、上述の具体的な文字列や数値、並びに、図面中の具体的な文字列は例示であり、これらの文字列や数値には限定されない。

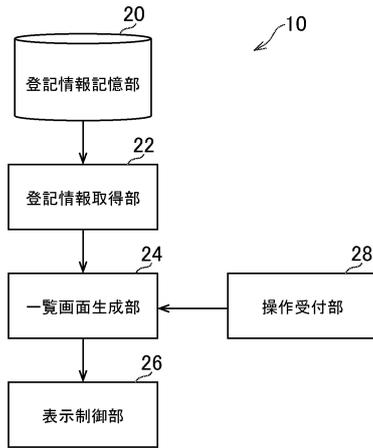
【 符号の説明 】

【 0 0 8 4 】

1 0 一覧画面表示制御システム、 2 0 登記情報記憶部、 2 2 登記情報取得部、 2 4 一覧画面生成部、 2 6 表示制御部、 2 8 操作受付部、 3 0 一覧画面、 3 2 テーブル、 3 4 土地チェックボックス、 3 6 建物チェックボックス、 3 8 レコード、 4 0 カラム、 4 0 a 種類カラム、 4 0 b 面積カラム、 4 0 c 構造カラム、 4 0 d 階カラム、 4 0 e 築年カラム、 4 0 f 所有者カラム、 4 0 g 担保カラム、 4 2 フィールド、 4 2 a 種類フィールド、 4 2 b 面積フィールド、 4 2 c 構造フィールド、 4 2 d 階フィールド、 4 2 e 築年フィールド、 4 2 f 所有者フィールド、 4 2 g 担保フィールド。

40

【 図 1 】



【 図 2 】

表題部データ	
表示種別データ	土地の表示
調製年月日データ	-
不動産番号データ	500,xxxxxxxxxx
地図番号データ	2510
境界特定データ	-
所在データ	B市C町D
地番データ	地積データ
763番1	231
宅地	原因及びその日付[登記の日付]データ

【 図 3 】

表題部データ	
主である建物の表示	
表示種別データ	-
調製年月日データ	500,xxxxxxxxxx
不動産番号データ	-
所在区番号データ	B市C町D, 763番地8
家屋番号データ	763番8
種類データ	構造データ
居室	床面積データ
	1階 22
	2階 22
	原因及びその日付[登記の日付]データ
	昭和51年3月15日新築
	[昭和51年3月17日]

【 図 4 】

種類	面積	構造	階	築年	所有者	担保
<input checked="" type="checkbox"/> 土地 40a						
<input checked="" type="checkbox"/> 建物 40b						
		木造か	0	2022	AA太郎	+1 担
	231m ²				AA太郎	+1 担
	101m ²				BB二郎	+1
	106m ²				CC三郎	+1
	46m ²				DD市	
	67m ²	鉄筋口	7	2019	EE花子	+1 担
	138m ²	木造か	1	2017	FF太郎	+1 担共
	301m ²				FF太郎	+1 担共
	30m ²	木造又	1	1963	GG二郎	
	30m ²	木造又	1	1963	GG二郎	
	114m ²	木造合	2	2014	HH三郎	担
	124m ²	木造瓦	2	2004	II四郎	+1
	99m ²	木造又	2	2007	JJ春子	担共
	128m ²				JJ春子	担共
	207m ²				KK五郎	
	385m ²	木造垂	2	2023	LL六郎	担共
	169m ²	木造垂	2	2023	LL六郎	担共
	44m ²	木造か	2	1976	MM七郎	
	635m ²				NN夏子	
	207m ²	木造又	2	1983	OO秋子	
	207m ²	木造又	2	1983	OO秋子	
	207m ²	木造又	2	1983	OO秋子	
	938m ²				PP冬子	

【 図 5 】

宅地	231m ²				AA太郎	+1	担
42a	42b	42c	42d	42e	42f	42g	

【 図 6 】

居宅	44m ²	木造か	2	1976	MM七郎		
42a	42b	42c	42d	42e	42f	42g	

【 図 7 】

30

土地 34 40a
 建物 36 40b

32 40f 40g

種類	面積	構造	階	築年	所有者	担保
宅地	231m ²				AA太郎 +1	担
宅地	101m ²				BB二郎 +1	
宅地	106m ²				CC三郎 +1	
雑種	46m ²				DD市	
宅地	301m ²				FF太郎 +1	担共
宅地	128m ²				JJ春子	担共
宅地	207m ²				KK五郎	
宅地	635m ²				NN夏子	
宅地	938m ²				PP冬子	

【 図 8 】

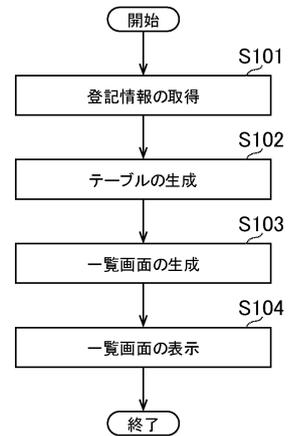
30

土地 34 40a
 建物 36 40b

32 40f 40g

種類	面積	構造	階	築年	所有者	担保
		木造か	0	2022	AA太郎 +1	担
居宅	67m ²	鉄筋口	7	2019	EE花子 +1	担
居宅	138m ²	木造か	1	2017	FF太郎 +1	担共
居宅	30m ²	木造ス	1	1963	GG二郎	
居宅	30m ²	木造ス	1	1963	GG二郎	
共同	114m ²	木造合	2	2014	HH三郎	担
居宅	124m ²	木造瓦	2	2004	II四郎 +1	
居宅	99m ²	木造ス	2	2007	JJ春子	担共
共同	385m ²	木造垂	2	2023	LL六郎	担共
共同	169m ²	木造垂	2	2023	LL六郎	担共
居宅	44m ²	木造か	2	1976	MM七郎	
共同	207m ²	木造ス	2	1983	OO秋子	
共同	207m ²	木造ス	2	1983	OO秋子	
共同	207m ²	木造ス	2	1983	OO秋子	

【 図 9 】



【 手続補正書 】

【 提出日 】 令和7年9月25日 (2025.9.25)

【 手続補正 1 】

【 補正対象書類名 】 特許請求の範囲

【 補正対象項目名 】 全文

【 補正方法 】 変更

【 補正の内容 】

【 特許請求の範囲 】

【 請求項 1 】

土地の登記情報及び建物の登記情報を含む複数の登記情報を取得する登記情報取得手段と、

1 行目に複数種類の見出しが配置され、2 行目以降に見出しを含むことなく前記複数の登記情報のそれぞれに対応するレコードが連続して配置されたテーブルであって、種類を示す見出しの下に、土地の登記情報に対応するレコードについては当該登記情報の地目の欄に記載されている内容が、建物の登記情報に対応するレコードについては当該登記情報の種類の欄に記載されている内容が、縦一列に並んで配置されたテーブルを生成するテーブル生成手段と、

前記テーブルを表示させる表示制御手段と、

を含むテーブル表示制御システム。

【 請求項 2 】

前記テーブル生成手段は、面積を示す見出しの下に、土地の登記情報に対応するレコードについては当該登記情報の地積の欄に記載されている内容が、建物の登記情報に対応するレコードについては当該登記情報の床面積の欄に記載されている内容が、縦一列に並んで配置された前記テーブルを生成する、

請求項 1 に記載のテーブル表示制御システム。

【 請求項 3 】

前記表示制御手段は、土地の登記情報のそれぞれに対応するレコードのみが配置されたテーブル、建物の登記情報のそれぞれに対応するレコードのみが配置されたテーブル、又は、土地の登記情報のそれぞれに対応するレコードと建物の登記情報のそれぞれに対応するレコードが配置されたテーブル、のうちのいずれかが表示されている状況における操作の受付に応じて、表示されているテーブルを当該テーブルとは異なるテーブルに切り替える、

請求項 1 に記載のテーブル表示制御システム。

【 請求項 4 】

前記表示制御手段は、前記レコードの選択に応じて、当該レコードに対応する登記情報を表示させる、

請求項 1 に記載のテーブル表示制御システム。

【 請求項 5 】

登記情報取得手段が、土地の登記情報及び建物の登記情報を含む複数の登記情報を取得するステップと、

テーブル生成手段が、1 行目に複数種類の見出しが配置され、2 行目以降に見出しを含むことなく前記複数の登記情報のそれぞれに対応するレコードが連続して配置されたテーブルであって、種類を示す見出しの下に、土地の登記情報に対応するレコードについては当該登記情報の地目の欄に記載されている内容が、建物の登記情報に対応するレコードについては当該登記情報の種類の欄に記載されている内容が、縦一列に並んで配置されたテーブルを生成するステップと、

表示制御手段が、前記テーブルを表示させるステップと、

を含むテーブル表示制御方法。

【 請求項 6 】

土地の登記情報及び建物の登記情報を含む複数の登記情報を取得するステップと、

1 行目に複数種類の見出しが配置され、2 行目以降に見出しを含むことなく前記複数の登記情報のそれぞれに対応するレコードが連続して配置されたテーブルであって、種類を示す見出しの下に、土地の登記情報に対応するレコードについては当該登記情報の地目の欄に記載されている内容が、建物の登記情報に対応するレコードについては当該登記情報の種類の欄に記載されている内容が、縦一列に並んで配置されたテーブルを生成するステップと、

前記テーブルを表示させるステップと、
をコンピュータに実行させるためのプログラム。